

学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

情報科学部

1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
情報科学プロ グラム	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

自己点検・評価単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2	分析 項目 6-6-3
情報科学プロ グラム	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

自己点検・評価単位	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
情報科学プロ グラム		5	5	4		

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

2. 評価結果に対する総評

学部開設以来、教員の辞職や新規採用が頻繁に発生したため、文部科学省の設置審査で承認されたカリキュラムを維持するための教育組織整備を継続的に行ってきた。学部開設直後の過渡期であるため、教育活動の実施内容について、情報科学部運営会議、教授会・教員会において慎重に協議しながら整備を行ってきた。

令和4年度からプログラム制を導入することに伴い、さらに高度できめ細かい専門教育を実施するため、これまでの教育内容・効果や課題を検証し、新しいカリキュラムについて、教授会・教員会等で慎重に協議を行った。

令和3年度が学士課程教育の完成年度となり第1期生が卒業し、アンケート等で概ね良好に教育目標の達成状況が推移している一方で、更なる教育の質の改善・向上に向けて検討することが必要である。